

役員立候補者等 公示 8

立候補役員名	全道理事						
(ふりがな) 氏名	ひらた あつし 平田 淳	性別	(男) 女	生年月日	西暦 1974年8月27日	年齢	42歳
勤務先名	社会福祉士事務所たりたり						
会員番号	39968	市町村	旭川市				
主な活動歴	2011年社会福祉士資格取得、2012年4月旭川にて成年後見受任専門の社会福祉士事務所を独立開業。成年後見等を通算32件受任、旭川手をつなぐ育成会法人後見業務支援員の他、道内各地の市民後見人養成等講師を担当。会内活動として、2012年被災生活保護受給者生活再建サポーター事業支援員就任、のちに生活困難者支援委員会委員として「困りごとなんでも相談会＆学習会」を2014年から定期開催。						
立候補理由・ 抱負	立候補のきっかけは、2016年10月報道の、徳島県社会福祉士会元副会長による被後見人等への業務上横領事件にあります。市民の権利を擁護する立場にある後見人等が、その地位を利用して経済的虐待を行うということは言語道断です。ですが、他の専門職によるものも含め同様の事件は繰り返されており、会としてこれまでどれだけ有効な再発防止策を打つことができたのでしょうか。またそれは不可能なことなのでしょうか。個々の会員の倫理観に訴えるだけでは不十分であり、会を挙げて個別実践の検討を通じてその倫理を不断に再問するとともに、家裁との連携をさらに強化して不正防止のためのシステム構築・改良を絶えず行う必要があると考えます。権利擁護の推進者として当会が信頼される団体であると社会的に認識されるよう、理事として尽力する所存です。						
推薦者-①	鈴木 幸恵	会員番号	7965				
推薦理由	今回、平田さんを推薦する理由として、アウトリーチやソーシャルアクションに積極的だという点があります。私は、平田さんが北海道社会福祉士会生活困難者支援委員会で活動し、旭川市内で「困りごと何でも相談会」の企画運営を行ってきた取り組みに注目しました。 公益社団法人に所属する専門職として、その活動は社会貢献に資することが求められます。とりわけソーシャルワーカーは、アウトリーチやソーシャルアクションという手法によってその活動を具体化することが可能となります。北海道社会福祉士会の今後の活動に、平田さんの力を発揮してほしいと思います。						
推薦者-②	目黒 紀美代	会員番号	16605				
推薦理由	平田淳氏とは、2011年に東日本震災による被災者である道内の生活保護受給者を訪問し、生活再建に係るサポートを実施するというで立ち上がった生活再建サポーター事業（現、生活困難者支援委員会）を通し知り合い、以後、同じ独立型社会福祉士として互いに意見交換など、切磋琢磨し、日々の会務や業務に取り組み、現在に至っております。平田氏は、常に利用者の利益、権利擁護を最優先に広い視野で考え、取組むとともに、社会福祉士のありよう、社会福祉士会の更なる発展の為に何ができるのか等、実に多くの問題や課題を意識し、取組まれている方です。今後の社会福祉士会発展の為に欠かさない存在の一人だと思います。今後、更なる会の改革及び発展の為に、その力を発揮し、新風を注いでくれるに違いないと確信し、理事候補として推薦させていただきます。						
推薦者-③	西中 裕一	会員番号	36272				
推薦理由	平田氏は、独立型社会福祉士事務所代表として5年近くに亘り専門職後見業務を中心に活動してきました。これまでの受任総数は、30件を超え現在も20人以上の見守り、権利擁護に取り組まれています。この間、ばあとなあは基より医療機関や地域からの依頼も多く、困難事例についても積極的に関わってきました。また、当会の生活困難者支援委員会の委員として、旭川での「困りごとなんでも相談会」定期開催の企画運営の中心となり実践を重ね、専門職団体として課題と言えるアウトリーチに対する責任の一端を担うなど当会の活動に積極的に関わっています。 平田氏のベースは社会学(修士)にあり、多角的な視点からの考察とソーシャルワーク実践できる稀有な存在であり、当会の発展に寄与できる人材として推薦します。						